



2020年3月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2020年5月15日

上場会社名 有機合成薬品工業株式会社
 コード番号 4531 URL <https://www.yuki-gosei.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 松本 清一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 山戸 康彦
 定時株主総会開催予定日 2020年6月23日 配当支払開始予定日 2020年6月24日
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月24日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東

TEL 03-3664-3980

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	10,717	4.3	312	532.0	401		42	
2019年3月期	10,272	2.0	49	76.0	23	89.6	104	16.8

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	1.97		0.4	1.9	2.9
2019年3月期	4.78		0.9	0.1	0.5

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 百万円 2019年3月期 百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	20,227	10,536	52.1	482.75
2019年3月期	21,612	10,892	50.4	499.04

(参考) 自己資本 2020年3月期 10,536百万円 2019年3月期 10,892百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	1,420	315	992	1,444
2019年3月期	656	1,035	814	1,331

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産配当 率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期		0.00		3.00	3.00	65	62.8	0.6
2020年3月期		0.00		2.00	2.00	43		0.4
2021年3月期(予想)		0.00		2.00	2.00			

3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,300	0.4	70	43.6	50	61.1	40	32.5	1.83
通期	11,300	5.4	250	20.0	220	45.2	160		7.33

注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	21,974,000 株	2019年3月期	21,974,000 株
期末自己株式数	2020年3月期	147,604 株	2019年3月期	147,124 株
期中平均株式数	2020年3月期	21,826,753 株	2019年3月期	21,827,053 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(持分法損益等)	14
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当期におけるわが国経済は、消費税増税後の景気低迷に加え、米中間の通商問題や中国及び欧州経済の減速懸念の台頭により、不透明な状況が続いております。更に、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う非常事態宣言の発令が出た際は、外出自粛や移動制限により、経済活動そのものに甚大な影響が懸念される他、雇用に対する不安が日増しに増えております。

化学工業におきましても、内需の力強さを欠きつつある中、景況感や市況低迷による企業収益の悪化に対し、予断を許さない状況にあります。一方、世界各国での供給体制の不安定さから、原料調達先が一時的かつ局所的に国内へ回帰する動きが見られます。こうした状況下、当社は社内外の環境変化に迅速かつ的確に対応しつつ、重要課題を克服・解決しながら更なる発展の礎を築いてまいりますとともに、当社の実現可能な社会貢献についても常に念頭に置き、様々な取り組みを行っているところであります。

当期の業績状況は、売上高は過去最高を記録し、前期比4.3%増の10,717百万円となり、売上高の増加及び利益率の高い製品の販売が伸びたことにより、営業利益は312百万円、経常利益は401百万円と前期と比べると大幅に増加いたしました。しかしながら、昨年10月に発生した水災被害に伴う補修費及び設備稼働損失等を特別損失に計上したことから、当期純損失は42百万円となりました。

製品区分ごとの販売の状況は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	2019年3月期通期				2020年3月期通期			
	国内	輸出	合計	構成比(%)	国内	輸出	合計	構成比(%)
アミノ酸関係	1,130	2,416	3,546	34.5	1,081	2,403	3,485	32.5
化成品関係	3,003	528	3,531	34.4	2,838	495	3,334	31.1
医薬品関係	2,260	933	3,193	31.1	2,767	1,130	3,897	36.4
合計	6,394	3,877	10,272	100.0	6,688	4,029	10,717	100.0
構成比(%)	62.3	37.7	100.0		62.4	37.6	100.0	

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(アミノ酸関係)

アミノ酸は一部用途での販売が減少したものの、全体としては、国内販売、輸出販売ともに、前期と比べて増加しました。しかし、ビタミン原料の国内販売および輸出販売が、好調であった前期と比べて減少したことから、売上高は3,485百万円と、前期に比べて61百万円(1.7%)の減収となりました。

(化成品関係)

一部の特殊触媒や船底塗料用原料の国内販売が好調であったものの、半導体表面処理剤、一部の特殊触媒や農薬原料の国内売上が減少したことにより、売上高は3,334百万円と、前期に比べて196百万円(5.6%)の減収となりました。

(医薬品関係)

国内を中心に既存薬、ジェネリック原薬、新薬中間体の販売が好調であったことから、売上高は3,897百万円と、前期と比べて703百万円(22.0%)の増収となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当事業年度における各貸借対照表項目の増減要因は、次のとおりであります。

(流動資産)

当事業年度末の流動資産は、前事業年度末から660百万円減少いたしました。これは主に、製品の増加と、仕掛品、売掛金の減少によるものであります。

(固定資産)

当事業年度末の固定資産は、前事業年度末から724百万円減少いたしました。これは主に、機械及び装置、投資有価証券の評価差益の減少によるものであります。

(流動負債)

当事業年度末の流動負債は、前事業年度末から623百万円減少いたしました。これは主に、買掛金、短期借入金の減少によるものであります。

(固定負債)

当事業年度末の固定負債は、前事業年度末から405百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金の減少によるものであります。

(純資産)

当事業年度末の純資産は、前事業年度末から355百万円減少いたしました。これは主に、繰越利益剰余金、その他有価証券評価差額金の減少によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は1,444百万円となり前事業年度末に比べ112百万円増加いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により増加した資金は1,420百万円(前期は656百万円の増加)となりました。これは主に減価償却費940百万円、支払補償金256百万円、仕入債務305百万円等の減少と、売上債権の984百万円等の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は315百万円(前期は1,035百万円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出464百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により減少した資金は992百万円(前期は814百万円の増加)となりました。これは主に、短期借入金の純増減額300百万円と、長期借入金の返済による支出595百万円等によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の経済見通しにつきましては、いまだ新型コロナウイルスの感染拡大が続いており、収束時期を始め、その影響が中々見通せず、当社を取り巻く事業環境は、引き続き予断を許さない状況が続くと見ております。

このような状況の中、当社は2021年3月期を起点とする3カ年の中期経営計画を策定し、新たな目標達成のための経営課題に取り組み、より一層の収益力向上を図ってまいります。新たな中期経営計画の重点施策は以下5点であります。詳細につきましては、本日発表の「新中期経営計画の策定に関するお知らせ」をご覧ください。

「新中期経営計画の重点施策」

- ・クオリティカルチャーの向上
- ・働き方改革と人材育成
- ・アミノ酸事業の再生・再構築
- ・新規医薬品設備の活用、新製品開発体制の拡充
- ・化成品分野の基盤強化

当社の2021年3月期の業績見通しにつきましては、以下のとおりであります。

売上高	11,300百万円
営業利益	250百万円
経常利益	220百万円
当期純利益	160百万円

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は日本基準による非連結決算を実施しております。今後のIFRS(国際財務報告基準)導入に関する動向を注視しつつ、適切に対応する体制の整備に努めてまいります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,331	1,444
受取手形	216	136
売掛金	2,988	2,082
製品	2,938	3,207
仕掛品	754	452
原材料	883	929
貯蔵品	50	54
前払費用	29	33
その他	218	407
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	9,410	8,749
固定資産		
有形固定資産		
建物	5,951	5,984
減価償却累計額	△3,433	△3,568
建物(純額)	2,517	2,416
構築物	2,662	2,696
減価償却累計額	△1,760	△1,812
構築物(純額)	901	883
機械及び装置	19,040	19,144
減価償却累計額	△16,333	△16,760
機械及び装置(純額)	2,707	2,384
車両運搬具	102	104
減価償却累計額	△89	△90
車両運搬具(純額)	13	14
工具、器具及び備品	1,690	1,718
減価償却累計額	△1,382	△1,428
工具、器具及び備品(純額)	308	289
土地	3,110	3,110
リース資産	383	442
減価償却累計額	△134	△162
リース資産(純額)	248	280
建設仮勘定	25	77
有形固定資産合計	9,833	9,457

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
無形固定資産		
借地権	21	21
ソフトウェア	40	26
リース資産	—	49
その他	3	3
無形固定資産合計	66	101
投資その他の資産		
投資有価証券	1,967	1,493
関係会社株式	101	101
出資金	0	0
従業員に対する長期貸付金	18	15
長期前払費用	57	42
繰延税金資産	154	263
その他	2	1
投資その他の資産合計	2,302	1,918
固定資産合計	12,202	11,477
資産合計	21,612	20,227
負債の部		
流動負債		
支払手形	111	153
電子記録債務	350	232
買掛金	1,324	1,093
短期借入金	3,500	3,200
1年内返済予定の長期借入金	595	487
リース債務	25	51
未払金	218	185
未払費用	39	41
未払法人税等	25	16
前受金	2	28
預り金	27	10
賞与引当金	141	169
設備関係支払手形	78	102
設備関係電子記録債務	97	84
設備関係未払金	32	72
その他	56	74
流動負債合計	6,627	6,003
固定負債		
長期借入金	2,260	1,773
リース債務	223	288
再評価に係る繰延税金負債	617	600
退職給付引当金	975	1,008
資産除去債務	14	14
その他	1	1
固定負債合計	4,092	3,686
負債合計	10,719	9,690

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,471	3,471
資本剰余金		
資本準備金	3,250	3,250
資本剰余金合計	3,250	3,250
利益剰余金		
利益準備金	322	322
その他利益剰余金		
圧縮記帳積立金	44	44
別途積立金	1,822	1,822
繰越利益剰余金	1,133	1,024
利益剰余金合計	3,321	3,213
自己株式	△47	△47
株主資本合計	9,995	9,886
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	745	481
土地再評価差額金	151	168
評価・換算差額等合計	897	649
純資産合計	10,892	10,536
負債純資産合計	21,612	20,227

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	10,272	10,717
売上原価		
製品期首たな卸高	2,644	2,938
当期製品製造原価	8,787	8,729
合計	11,432	11,667
他勘定振替高	4	42
製品期末たな卸高	2,938	3,207
売上原価合計	8,489	8,417
売上総利益	1,783	2,300
販売費及び一般管理費		
運搬費	224	245
役員報酬及び給料手当	425	433
賞与引当金繰入額	34	41
退職給付費用	39	43
減価償却費	31	26
研究開発費	345	629
その他	633	568
販売費及び一般管理費合計	1,733	1,987
営業利益	49	312
営業外収益		
奨励金収入	—	100
受取利息	0	0
受取配当金	60	49
雑収入	19	21
営業外収益合計	79	170
営業外費用		
支払利息	54	49
支払手数料	42	22
雑損失	9	9
営業外費用合計	105	81
経常利益	23	401
特別利益		
受取保険金	—	184
補助金収入	680	—
投資有価証券売却益	168	92
特別利益合計	849	276
特別損失		
災害による損失	—	389
支払補償金	—	256
固定資産除却損	34	56
減損損失	7	—
固定資産圧縮損	680	—
投資有価証券評価損	8	26
特別損失合計	731	728
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	141	△49
法人税、住民税及び事業税	39	10
法人税等調整額	△2	△16
法人税等合計	37	△6
当期純利益又は当期純損失(△)	104	△42

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計
当期首残高	3,471	3,250	—	3,250
当期変動額				
自己株式の取得				
剰余金の配当				
圧縮記帳積立金の税率変更による増加				
自己株式の処分			△0	△0
利益剰余金から資本剰余金への振替			0	0
当期純利益又は当期純損失(△)				
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	—	—	—	—
当期末残高	3,471	3,250	—	3,250

	株主資本						
	利益準備金	利益剰余金				自己株式	株主資本合計
		その他利益剰余金			利益剰余金合計		
		圧縮記帳積立金	別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	322	44	1,822	1,159	3,348	△47	10,022
当期変動額							
自己株式の取得						△0	△0
剰余金の配当				△130	△130		△130
圧縮記帳積立金の税率変更による増加		△0		0			—
自己株式の処分						0	0
利益剰余金から資本剰余金への振替				△0	△0		—
当期純利益又は当期純損失(△)				104	104		104
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	—	△0	—	△26	△26	△0	△26
当期末残高	322	44	1,822	1,133	3,321	△47	9,995

(単位：百万円)

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価差額 金	評価・換算差額 等合計	
当期首残高	935	168	1,103	11,125
当期変動額				
自己株式の取得				△0
剰余金の配当				△130
圧縮記帳積立金の税率変 更による増加				—
自己株式の処分				0
利益剰余金から資本剰余 金への振替				—
当期純利益又は当期純損 失(△)				104
株主資本以外の項目の当 期変動額(純額)	△190	△16	△206	△206
当期変動額合計	△190	△16	△206	△233
当期末残高	745	151	897	10,892

当事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計
当期首残高	3,471	3,250	—	3,250
当期変動額				
自己株式の取得				
剰余金の配当				
圧縮記帳積立金の税率変更による増加				
自己株式の処分				
利益剰余金から資本剰余金への振替				
当期純利益又は当期純損失(△)				
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	—	—	—	—
当期末残高	3,471	3,250	—	3,250

	株主資本						
	利益剰余金					自己株式	株主資本合計
	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金合計		
		圧縮記帳積立金	別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	322	44	1,822	1,133	3,321	△47	9,995
当期変動額							
自己株式の取得						△0	△0
剰余金の配当				△65	△65		△65
圧縮記帳積立金の税率変更による増加		0		△0			—
自己株式の処分							—
利益剰余金から資本剰余金への振替							—
当期純利益又は当期純損失(△)				△42	△42		△42
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	—	0	—	△108	△108	△0	△108
当期末残高	322	44	1,822	1,024	3,213	△47	9,886

(単位：百万円)

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価差額 金	評価・換算差額 等合計	
当期首残高	745	151	897	10,892
当期変動額				
自己株式の取得				△0
剰余金の配当				△65
圧縮記帳積立金の税率変 更による増加				—
自己株式の処分				—
利益剰余金から資本剰余 金への振替				—
当期純利益又は当期純損 失(△)				△42
株主資本以外の項目の当 期変動額(純額)	△263	16	△247	△247
当期変動額合計	△263	16	△247	△355
当期末残高	481	168	649	10,536

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	141	△49
減価償却費	889	940
賞与引当金の増減額(△は減少)	△47	28
退職給付引当金の増減額(△は減少)	56	32
固定資産除却損	34	56
固定資産圧縮損	680	—
減損損失	7	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△168	△92
投資有価証券評価損益(△は益)	8	26
補助金収入	△680	—
災害による損失	—	9
受取保険金	—	△184
受取利息及び受取配当金	△60	△49
雑収入	△18	△121
支払利息	54	49
支払手数料	42	22
支払補償金	—	256
雑損失	2	9
売上債権の増減額(△は増加)	△8	984
たな卸資産の増減額(△は増加)	△421	△18
仕入債務の増減額(△は減少)	306	△305
未払消費税等の増減額(△は減少)	169	29
その他	△223	△132
小計	763	1,492
利息及び配当金の受取額	60	49
利息の支払額	△57	△52
保険金の受取額	—	174
法人税等の支払額	△82	△24
支払補償金の支払額	—	△256
その他	△28	38
営業活動によるキャッシュ・フロー	656	1,420
投資活動によるキャッシュ・フロー		
補助金の受取額	680	—
長期性預金の払戻による収入	70	—
投資有価証券の売却による収入	255	184
有形固定資産の取得による支出	△2,020	△464
固定資産の除却による支出	△21	△36
貸付けによる支出	△1	△1
貸付金の回収による収入	3	4
無形固定資産の取得による支出	△0	△2
その他固定資産の取得による支出	△0	△0
その他固定資産の解約による収入	0	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,035	△315

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,500	△300
長期借入金の返済による支出	△529	△595
リース債務の返済による支出	△25	△31
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	0	—
配当金の支払額	△130	△65
財務活動によるキャッシュ・フロー	814	△992
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	437	112
現金及び現金同等物の期首残高	894	1,331
現金及び現金同等物の期末残高	1,331	1,444

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社はファインケミカル事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(持分法損益等)

1. 関連会社に関する事項

当社は、関連会社を有しておりません。

2. 開示対象特別目的会社に関する事項

当社は、開示対象特別目的会社を有しておりません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	499.04円	482.75円
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	4.78円	△1.97円

(注) 1. 前事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。当事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)(百万円)	104	△42
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る当期純利益又は当期純損失(△)(百万円)	104	△42
期中平均株式数(株)	21,827,053	21,826,753

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	10,892	10,536
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	10,892	10,536
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	21,826,876	21,826,396

(重要な後発事象)

該当事項はありません。